

第3回施設活用方法検討ワークショップ 「実際に何ができるか考えよう！」記録

実施日：2009年2月14日（土）14：00～16：00

会場：松が丘ビル3階大会議室

ファシリテーター：辻 信一氏

参加者：10名

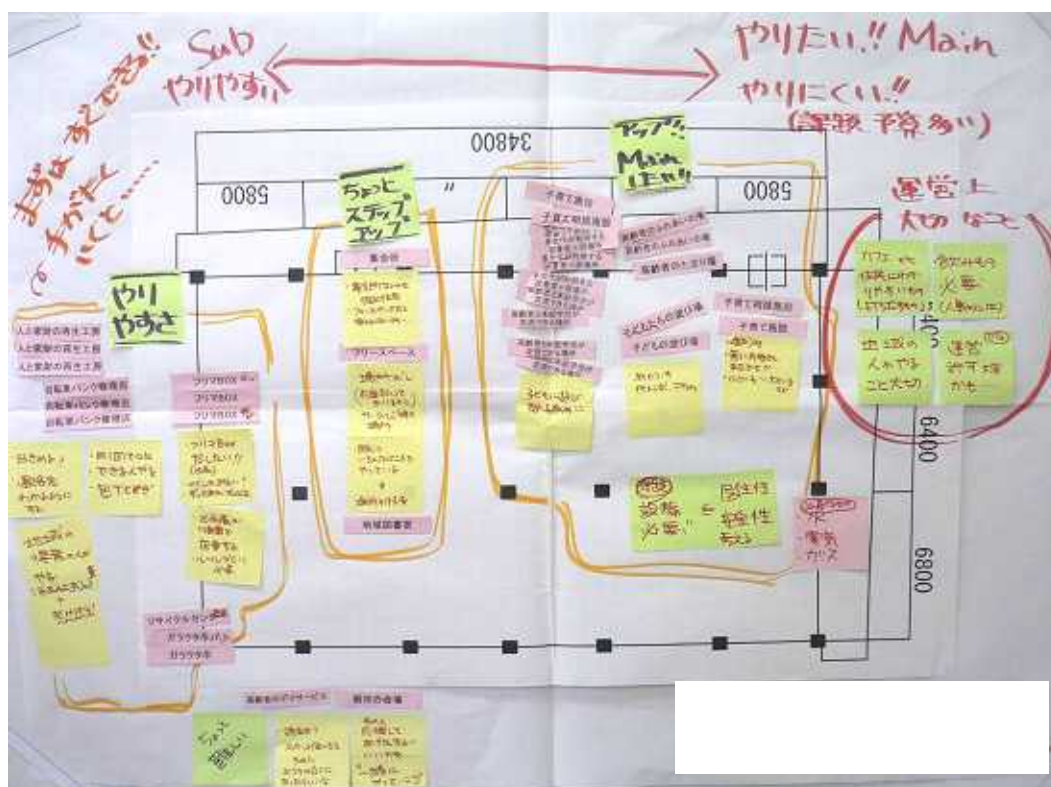
内容：松が丘地区の公社所有の空き店舗である朝霧ショップ（トーホー跡地）を住民主体の運営を視野に入れた活用方法を検討するワークショップの第2回目が開催された。



今回は、実際の図面を用いて具体的なアイデアのマッピングを行う予定であったが、当日の参加者の関心の度合い、盛り上がりからプログラムを一部変更し、第1回ワークショップで検討した多くの意見を絞り込む作業が行われた。

グループ1 テーブルファシリテーター 桐山氏

メンバー 5名



意見整理

分類「やりやすさ」 すぐにできて、手堅くいくやり方として

「やりやすい」

気持ち的にはサブ

- ・人と家財の再生工場 ・自転車パンク修理店 ・包丁の研ぎ方教室
連絡先を分かるようにする / 月1回でOK / できる人でやる / 日決める?
/ 地域の得意な人がやる (まず人探し すぐに見つかる!)
- ・フリマBOX
フリマBOX出したい / ずっとあれば人はくる / 出品者が順番で店番する
/ ルールづくり必要
- ・リサイクルセンター ・ガラクタ市

分類「ちょっとステップアップ」 やりやすい

- ・集会所
集会所ないのは個人住宅 / フリースペースだと使われないかも
- ・フリースペース
場所貸し (お金払って借りるところ) / サークル活動 / 場所割が必要
(反対意見として) 既にいろんなところでやっている。
- ・地域図書館

分類「アップ」 Mainにしたい!!

「やりにくい
課題・予算大」

気持ち的にはメイ
ンでやりたい!!

- ・子育て施設 ・多世代が利用する図書館、居場所 ・高齢者と未就学児が交
流できる場所
子どもに遊びを教えるために
- ・高齢者のふれあいの場 ・高齢者のたまり場 ・子どもたちの遊び場
紙ヒコ・キ / 竹トンボ / コマなど
- ・子育て相談施設
若いお母さんまちに出て!
小さい子~大きい子まで。
課題として 設備必要 居住性、安全性を考える必要あり。
必要なもの 水、電気、ガス

運営上大切なこと

- ・カフェなど住民に分かりやすいもの (打ち出すもの)
- ・飲み物必要 (ひと集めには) ・地域の人がやること大切
- ・運営の許可が大変かも (カフェの場合)

その他1: 高齢者のデイサービス スペース使いきるため。家の近くにあつたらいい。

その他2: 朝市の会場 今の人を応援してあげた方がいいかも。一緒にやっっていこう。

まとめとして

【グループ1】

まずは、何が欲しいか、何が必要かということで話し合っていくと、同じ場所にあるとごちゃごちゃしないかという懸念もあったが、「子育て施設」「高齢者のふれあいの場」「図書館」など住民が交流できれば、地域の活性化につながり、シャッターも開きやすいのではないかと、という意見が出ました。

パンク修理とか、包丁とぎなど、地域で技術を持っている方がいらっしゃったら、地域の一番助かる部分が出てくるのではないかと、また、この場合は、設備もあまりいらぬのではないかと、という意見が出ました。フリマBOXは出店した人が店番をすることで、人のやりくりもできるのではないのでしょうか。フリースペースだといろいろな場所にあるけれど、料金が高等などのこともあります。したがって、この場所を低料金で貸してもらえれば、いろいろなことに使えるのではないかと、という意見が出ました。

お金や管理、設備のことを考えてみると、一番やりたかったことに一番お金がかかるということが見えてきました。子どもや、高齢者が集まる場所にするには居住性、安全性が必要であり、そのためには電気・水・ガス水道全て必要になってくるため、課題が多くあります。

やりやすさからいうと地域の人材の活用です。人と場所があればできるということでした。グループ1で一番やりたいのはフリースペースや図書館という意見が多かったのですが、本棚などにお金がかかりそうなどの意見が出ました。また、喫茶など運営となると、許可、法律に関わることで、別のところでやっている団体に聞きに行くなどの意見が出ました。

グループ2 テーブルファシリテーター 田中氏
メンバー 6名



意見整理

分類「月1回のイベント的に」 ニーズはありそう。

- ・朝市の会場
(肯定意見) 設備がかからない/地域にPRが必要/野菜提供者とネットワークできる/
花の会の切り花がよく売れる
(反対意見) コーディネートする人をどうするか/農家と誰が話をつけるか/今商売して
いる人に迷惑がかかる
(対応) 開催日を考える必要あり 月1回とか、年1回だったらできるかも。
- ・フリマBOX ・ガラクタ市 ・チャレンジショップ
自分たちの持っている物を出し合う/ブツブツ交換/朝市と同じサイクルで行う。
- ・家財の再生工房 ・リサイクル工房 ・自転車パンク修理
実際にできそう/家電の修理もできそう/子どもの集まる場所になる

分類「必要だが行政への働きかけ必要」

- ・高齢者の包括支援センター
高齢化が進んでいるから/明石側が弱い/福祉の出先機関が欲しい
今後は自治会等で働きかけをしていきたい。

分類「お年寄りから子どもまでが交流できる」

- ・図書施設 ・子ども図書館 ・地域図書館 ・多世代が利用する図書館、居場所
明石の図書館が行きづらい/学校の先生は余裕がない(忙しいから)/学校(子どもに影
響を与えるかも)/本棚がいっぱい余っている家が多い/4丁目自治会が2000冊寄付した
ケースがある/本が読みたくて困っている人が多い
- ・子どもの遊び場 ・子育て相談施設 ・朝霧公園の樹木を利用したアクセサリーづくり
(肯定意見) あかねが丘学園との連携できるかも/秋にはドングリがいっぱい/工作の教
育/自由に遊ばせることをしたい
(反対意見) ナイフ、包丁など親が嫌がる/怪我したときの責任はどうか
(対応) 親と一緒に参加させる

分類「これからの明舞に必要」

- ・高齢者ふれあいの場
(肯定意見) 高齢化が進んでいる/(とにかく)必要だ/囲碁、将棋、卓球、マージャン
(反対意見) 管理を誰がするのか/設備が必要

分類「他の分類をつなぐ場所としてのカフェ」

・カフェ

(肯定意見) 全部の要素(分類)とつながる

(反対意見) 管理をどうするのか/商売は成り立つのか/お金はどうするのか

まとめとして

【グループ2】

朝市のような「物品の販売交換」と「パンク直し」「家電の修理」ができそうだという流れになりました。子どもの関連だと「図書館」という意見が多かったです。高齢者の寄り合い場所とすれば、囲碁、将棋、マージャンをやりたいという意見が出ました。また、市の出先機関もほしいという意見が出ましたが、これは市に頼むことなので、今回は退けました。何をするにしてもコーヒー、紅茶を簡単にらせるような施設がほしいとのことでした。

全体のまとめとして(メインファシリテーター 辻氏)

両方で共通してあったのが

- ・修理系
 - ・フリマ系(BOX)
 - ・高齢者、子どもの居場所系
 - ・お茶が必要。水、電気、ガスも必要
- 修理系について

やり手もありそうだし、ニーズも高そうなので、定期的に行っていくのが重要であるという意見が多かった。

フリマ系

フリマ系といってもいろんなアイデアがあった。例えばBOXを置く、店を並べる、ブツブツ交換など。実際にどれがいいのかはもう少し議論してみないと分からない。

高齢者子どもの居場所系

地域の一番高度のもとしてふれあいの広場など。また、それに近いところで図書室系がある。図書室といっても、みんなが集まる場所に本があるというイメージ。

どの意見(候補プラン)を取っても、例えばお茶のように、対面的な人とのふれあいが発生しやすいようなものが必要です。また、人が集まれるようなスペースにするということは内装を整備する必要もあります。朝霧ショップの場合は、空間を囲う必要があるため壁を立てなければいけません。そこで参考になるのは、千里の「どこかからもってくる」という方法です。しかし、最初からやっていくのは難しいので、できそうなところから取り組んでいってみる。そしてどんどん利用者を増やしていくことで行政も巻き込んでいけるのではないのでしょうか。さて、次回はこれをどう活動につなげていくかを考えてみたいと思います。

